

## 「第2期市民ワークショップ」のキックオフ！

12月5日（土）、「まちづくり市民会議（市民ワークショップ）」の第2期をスタートしました。

「これまでのワークショップで共有できたアイデアやイメージを実現するためのキックオフ！」と題して、座長の岩手県立大学の内田先生から、「これまでの振り返り」と「ワークショップの手法」について説明をいただきました。

ワークショップでは、①スポーツ系、②広場あそび系、③ステージ系、④市（マルシェ、カフェ）、⑤くつろぎ（リラックス）系の5つのグループに分かれ、アイデアを話し合いました。

①の班からは、「ボルダリング」、「海岸バレー」、「スラッグライン」。②の班からは、「海を感じる広場（船をモチーフにした公園）」、「震災モニュメント」。③の班からは、「屋根付きステージを使った各種イベント（音楽祭、のど自慢大会）」、「既存イベントでの利活用」。④からは、「移動販売車を使ったイベント」、「商店街への買い物・飲食を促すようなイベント開催や駐車場整備」。⑤からは、「芝生広場」「勉強や読書が出来る空間」等の意見が出されました。

最後に、弘前大学の北原先生から、「物（建物）が無くなると、まちに元気がなくなる。まちを元気にする方法を考え、夢物語では終わらせず、しっかり実現していきたい。次回は、実現できること、できないことをはっきり分け、具体化するための方法を考えてほしい。」と講評をいただきました。

### 第2期第1回ワークショップの開催状況

<b>日時</b>	平成27年12月5日（土） 13時30分から16時30分まで
<b>場所</b>	宮古市役所 本庁舎6階大ホール
<b>参加者</b>	38名
<b>内容</b>	テーマ「中心市街地地区の活性化のアイデアやイメージを実現するために」 座長 県立大学盛岡短期大学部生活科学科 准教授 内田 信平 氏 講評 弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 北原 啓司 氏

